

例会報告

第2325回例会報告議事録
日時 26年1月21日(火曜日)
場所 ホテル マークワン 我孫子
時間 12:15点鐘

ロータリーソング「奉仕の理想」
ゲスト：なし

会長挨拶

米田会長



昨日から寝相が悪かったのか左肩が痛く洋服の脱ぎきも辛い状態です。さて、週報の裏面にも記載がありますが理事会報告ですが、新年会の際お出で頂いた教育委員長の依頼のメルヘン文庫ですが今一度内容を精査して対応したいと考えております。

瀧日会員より50周年事業の蓄財のご意見を頂いておりますので少しでも蓄財が出来る様、後半任期を運営して行きたいと考えています。国際大会の参加も瀧日会員より有りますのでご興味の有る方はご検討下さい。

2月19日のIMではSAAの服部会員に発表をお願いしております。又、松本会員が次年度ガバナー補佐として分区への紹介も有りますので大勢の方の参加をお願いします。

親睦委員会報告

小池委員長



週報でお知らせしておりますスケジュールの変更がございます。柏東との合同例会ですがゴルフ場の関係で3月25日になります。

当日は藤が谷カントリー倶楽部で親睦コンペを行い、続いて夜間例会を行ないますのでよろしくお願いします。

出席報告

塩毛委員長

22名出席(全員で27名) 出席率81.4%

米山奨学金委員会報告

鈴木委員長



ネルゲ・バトヤさんのその後の動向についてご報告します。先週の水曜がお誕生日で28歳になりました。彼女はコーポレート・ガバナンス(企業統治)というジャンルを勉強されていて、先日、卒論が全て終わったそうです。先週の土曜にうちの家内と娘と4人でおさしみを食べに行き、これからどうするか等聞いて来ました。モンゴルに帰る前に英語を勉強するために、アメリカのサンフランシスコにいくとのことでした。うちの娘は来年の4月からアトランタの幼稚園に勤務する予定なので、アメリカで会いましょうと話が盛り上がりました。モンゴルは今、経済成長率が世界一だそうで、これからのモンゴルの成長を共に祈りたいと思っています。

モンゴルではトラガという恋人が彼女を待っていて、将来の結婚式には私以外に4人のロータリアンも出席して下さるそうで、賑やかな結婚式になるのかなと思っています。

幹事報告

鈴木会員代理

本日の幹事報告はございません。



例会前の昼食



例会風景



瀧日会員 鎌田会員

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
松本会員	前回例会欠席すみません。	1,000円
星野会員	過日、塩毛会員より釣ってきた「ひらめ」を頂き、家族全員で美味しく頂きました。	1,000円
井上会員	旅行のため例会を欠席しました。	2,000円
野田会員	先週インフルエンザで例会欠席しました。	1,000円
丸田会員	卓話をさせて頂きました。	3,000円
当日計		8,000円
今期累計		251,550円

卓話

丸田会員

先ほど会長が肩が痛いと話されていましたが、私も2週間ばかり神経痛で肩が痛くて洋服を着るのもつらい状態で痛さはよくわかります。

生業である印刷業についてお話しさせていただこうと思います。私はお墓が谷中にありまして、新年に行きましたら、住職の奥さんから「檀家の印刷屋さんが商売をたたんで大変なんですよ」というお話を聞きました。世間でも印刷業が大変だと感じているんだなと思いました。

2010年の統計資料では、総出荷額が6兆1,761億円程あります。去年の統計ではおそらく5兆8千億位に減っています。印刷業の事業所は全国に2万9千社あり、従業員は33万人程います。印刷だけをする会社、うちのように印刷から加工までする会社を含めて印刷業といいます。製版業、製本業、印刷加工業、印刷関連サービスを含めて、2010年が6兆1,761億円でピークは1991年の約9兆円で、年々下がり続けています。

大日本印刷、凸版印刷で約3兆円を売り上げており、中小零細の多い業界で非上場で70億位やっている会社もあるので、同族経営でも伸ばしている印刷会社もあります。

長期予想としては2020年の中位予想は17%減の4兆4千億、下位予想では3兆8千億の規模になるだろうと言われてしています。

リーマンショックや東日本大震災以降、従来の印刷業は停滞、減少しており、もがき苦しんでいるのは事実です。一番の原因はデジタル技術の急速な進化です。通信回線の高速化やデータ圧縮技術、記憶容量、デジカメの解像度等の高度化で印刷の印刷のデータ化、インハウス化が進みました。印刷業の総出荷量は減っていますが、紙の出荷量は微減です。逆にPPC用紙等は出荷が増えて、白紙化が進んでおります。

だったらデジタル化を進めればと思うのですが、デジタル印刷機が一番安くても5、6千万円で上位機種になると約4億円します。4億円くらいのは両面4色で、オフ輪と同じくらいのスピードで、なおかつ1枚ずつ違う印刷ができます。が中小零細にはそんな設備投資はできないので、我々従来の印刷会社は現状のオフセットの技術と買える範囲のデジタル印刷機をうまく共用させて生き残るのが一つの道筋かなと思っています。

いまひとつの原因はペーパーレスのエコ、環境資源確保です。これはすごい勢いで進んでいます。昨年暮れに初めて東京JC（青年会議所）の記念例会に出てきたのですが、カルビーのCEOのお話を聞きました。カルビーさんは本社を丸ビルの中に移すプロジェクトを立ち上げる時に、自分の固定の机やロッカーはなくし、オープンスペースのテーブルでパソコンで仕事をするという方針を決めました。古い資料はデータやPDFに落とすなりして、自分たちのパソコンに入れなさいと指示しましたら、過去の資料を見なかったら仕事にならないと反対意見が出たため倉庫を借りて古い資料を置いておくことにしたそうです。しかし、倉庫に資料を取りに行った人は半年間で一人もいなかったそうです。基本的に変えようとする気持ちさえあれば変えられるということで、印刷物の削減、CO2削減、環境社会貢献に成功したそうです。

理由は解りませんが、スーパーがチラシを打つと必ずお客さんが来ます。最近では100万円以上の高額商品を買ってくれるお客さんにはびっくりするような高価なDMを送ったりします。ターゲットを絞り込んでビジネスを展開する必要があります。

実際問題、当社としましても従業員を路頭に迷わせる訳にはいきませんので、最近ではスマホでのハガキ印刷のビジネスもしています。家にあるプリンターは使う頻度が少ないと、インクが詰

まる等のトラブルが多いので、データをもらい当社で印刷しようじゃないか、ということで「絵はがき」という事業を始めました。できれば宛名印刷と投函もしてほしいというニーズもありましたので今は両方できるようにしています。海外旅行中に海外から日本へハガキを送る注文をされるお客さまが多いです。もらった人は、我孫子の消印と不思議に思うかもしれませんが、今はそれもありません。

廃業・倒産している印刷会社は都市型の会社が多いです。地域密着系の会社は生き残っています。当社としましては、地元のお役に立てないかと思い「東葛マーチング」を始めました。先般、バードフェスティバルで展示させていただきましたら、わずかな金額ですが買って頂きました。湖北郵便局にも年賀状の申込書を置かせて頂きました。我孫子、柏、野田、流山、鎌ヶ谷、松戸と作って行き、伸ばして行けたらと思っております。柏の浅野会員が東急ハンズ内の本屋を経営されていて、店頭にも置いてもいいとおっしゃってくださっているので、これから販売にこぎつけていけたらと思っております。そんな形で悪戦苦闘しながらやっております。

まだ時間が有りますので、インクジェット技術をお話します。

ミクロンの粒を正確に落として行くインクジェットプリンターの技術は素晴らしいです。その応用の3Dプリンターの技術はすごいです。また、デジタル技術はありとあらゆるものを変えています。Z会という塾では、生徒に応じたテキストが配られています。大手の印刷会社が請け負っていますが、一度見せて頂きました。ほぼ無人で24時間、その子その子に応じたテキストが作られています。

皆さんのお力を借りながら、頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。

Q：以前、印刷業界で発がん性物質でがんになった問題がありましたが、あれはどんな形なのでしょうか。

A：本番の印刷をする前に色校正というものを出すのですが、その工程を行う色校正専門会社では、ローラーを早く乾燥させるために、揮発性の高い溶剤を使います。印刷会社はローラーの洗油として、その溶剤を使っていました。大阪の会社さんがそれを非常に換気の悪い所で作業していた為、従業員の方が胆管がんになってしまいましたが、当社は、輪転機で左右の紙巾を揃える加工があり、ブローでどんどん吸い出しており、幸いなことに危険度が落ちていました。今は、危険度の高いものは厚生労働省で一切販売が禁止されています。

Q：印刷物で色が飛ぶものがありますが、公文書等、何年くらい持つものなのでしょうか。

A：湿度等管理されている所で保存されれば半永久的にもつと思っております。東日本大震災で公文書や美術品が濡れましたが、ラッキーなことに塩水だった為にカビが防止されたそうです。真水だったらカビでだめになっていたそうです。最近のコピー機のトナーですが粒子一つ一つに糊が付いていて用紙に定着されています、印刷会社が考えもしなかったところまでデジタル技術が進んでいます。

今週の表紙「柏西口ステーションモール」

高島屋柏店と、かつて駅ビルだった「柏ローズタウン」が改修され、1992年に開店した柏駅西口の大型ショッピングセンターです。

S館 専門店、S館 高島屋 TX、T館、そして2008年に開業した新館の4つから構成され、ファッション・グルメの店舗が立ち並びます。若者からお年寄りまであらゆる年代の方が楽しめる商業施設です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。